

島根リハビリテーション学院

島根デザイン専門学校

スぺシャリストを育む2校で卒業式と入学式 〜夢と希望を胸に〜

島根リハビリテーション学院 卒業式

【三月十日】

カルチャープラザ仁多で開催され、十一回目となる卒業式には、理学療法学科三十五人、作業療法学科二十九人の卒業生、近隣の医療関係者や多くの来賓、保護者や在校生など約四百人が出席しました。式では、谷川精規学院長が卒業生一人ひとりに卒業証書を手渡し、「奥出雲で培った知識と技術、コミュニケーション能力を生かし、社会人、医療人としての誇りと使命感をもって、病める人々の助けとなつてほしい」と激励の言葉を贈りました。

これに対し、卒業生代表の阿合佑平さんが「臨床実習な



▲感謝の言葉を述べる阿合さん

き合い、自分を思い切り表現することができるようになった。学校生活で学んだ大切なことを忘れず、物事に粘り強く取り組み、さらに成長していきたい」と決意を述べました。

卒業生の多くは県内外のデザイン会社などへの就職が決まつており、新天地で新たなモノづくりの道を目指します。

島根リハビリテーション学院 入学式

【四月八日】

医療・福祉分野でのエキスパートを目指し県内外から集まった、理学療法学科二十一人、作業療法学科二十人の入学式が、在校生、保護者など約三百人が出席し、カルチャープラザ仁多で行われました。式では、谷川精規学院長から「未来への覚悟を決め、確かな将来像を描き、それに必要な専門性や教養をこれからの学生生活の中で身につけて欲しい」と式辞が述べられました。

これを受け、新入生代表で理学療法学科の金山紀子さんが「高校生のとき、病院で理学療法士のことを知り、この

島根デザイン専門学校卒業式

【三月十六日】

今年は、デザイン専門学校から十一人の卒業生、併設する奥出雲陶芸研究所から一人の修了生が、モノづくりと向き合つた学び舎から巣立ちました。

恩師や在校生、多くの来賓に見守られながら、青木和幸校長から卒業生一人ひとりに卒業証書が手渡され、「二年間の経験と五感を使い習得した技術は、モノをつくる喜びに溢れた人生につながる。支えてくれた人への感謝を忘れず丁寧な人生を歩んでほしい」と花むけの言葉が贈られました。



▲決意を述べる藤田さん

また、これに対し卒業生代表でビジュアルデザイン科の藤田蓮さんが「自分自身と向

道を志した。目標を見失わず、仲間たちと切磋琢磨しながら患者さんに寄り添える療法師になれるよう成長したい」と誓いの言葉を述べました。

の伝統が受け継がれる奥出雲の地で、形の持つ本質を学び人々に幸せを与えるデザイナーになつてほしい」と式辞が述べられ、在校生代表の勝部岳さんからは「授業やたくさんの行事を通して友情を育み共に充実した学校生活にしましょう」と歓迎のあいさつがありました。

また、新入生を代表してビジュアルデザイン科の安野真弓さんが「新しいことへの挑戦で不安もあるが、一人でも多くの人に親しんでもらえる作品を創れるよう技術習得に励みたい」と決意を述べました。

これから二年間、学生たちはモノづくりに恵まれた環境の中でクリエイターの夢に向かって専門技術を学びます。



▲誓いの言葉を述べる金山さん

島根デザイン専門学校入学式

【四月十一日】

島根デザイン専門学校では、ビジュアルデザイン科十二人、モノ制作科一人、研究科一人が入学し、創作の道の第一歩を踏み出しました。

来賓や在校生、保護者など約七十人が見守る中、新入生一人ひとりの呼名があり、青木和幸校長から「モノづくり



▲決意を述べる安野さん

たくさん笑顔とともに

八川、横田で幼児園が開園

▼くす玉を割って開園をお祝い



四月三日、八川幼児園と横田幼児園の開園式及び入園式が行われました。

今回の開園は、平成二十一年度の馬木幼児園、二十三年度の布勢幼児園開園に続くもので、八川幼児園では一歳から五歳児の三十三人、横田幼児園では〇歳から五歳児の百四人が幼児園生活をスタートしました。

そのうち、八川幼児園での開園式では、園児代表のきりん組(四歳児)、らいおん組(五歳児)の園児と森原県議会議員、井上町長、仁多福祉会の森山勝利理事長、藤原陽子園長がくす玉を割って開園を祝いました。

また、藤原園長は「木の香りやぬくもりを感じる園舎といっぱい遊べる園庭、トロツコ列車も通る素敵な景色に囲まれて、一緒に楽しく元気に過ごしましょう」と子どもたちに語りかけました。

式の最後には、園児によるハンドベル演奏が行われ、開園に花を添えました。

今後、子どもたちは、生まれた地で、先生や保護者、地域の方々に見守られ、健やかに成長していくことでしょう。

住民の健康づくりに……

「奥出雲スポーツクラブ」設立



▲挨拶する長谷川会長

地域において、子どもから高齢者まで誰もが気軽に参加できる総合型地域スポーツクラブ「奥出雲スポーツクラブ」が設立され、三月二十四日、カルチャープラザ仁多で設立総会が開かれました。

同クラブは、町体育協会やスポーツ推進委員会を中心に設立。平成二十一年度から先進地視察や軽スポーツ体験を実施し、設立に至りました。

関係者約五十人が出席した総会で、同クラブの長谷川庸雄会長は「クラブの設立を機に、地域住民の交流の場として、活力ある地域社会づくりに大きな役割を果たすものと期待している」と、スポーツ振興だけでなく地域活性化への期待を述べました。

今後、同クラブでは、スポーツセンターや公民館を会場にエアロビクスなど四教室を実施していく予定。年会費一万円(家族入会すると二人目以降は九千円)で全教室に参加できます。また、児童、生徒の参加費は無料です。

【教室のご案内】

- ◆エアロビクス [仁多教室]カルチャープラザ仁多 毎月第2、4火曜日 19:00~20:30
[横田教室]ふれあいプラザ別館 毎週水曜日 15:00~16:30
- ◆ヨガ (会場)八川公民館 毎月第1、3金曜日 14:00~15:00
毎月第2、4土曜日 14:00~15:00
- ◆レクダンスLOVE (会場)あいコミュニティセンター 毎月第1、3土曜日 10:00~11:30
毎月第2、4水曜日 13:30~15:00
- ◆チャレンジスポーツ教室 (会場)奥出雲スポーツセンター 毎月第1、3金曜日 19:00~20:30

【お問い合わせ・申込み先】 奥出雲スポーツクラブ事務局
電話:52-2680(町体育協会)